

産業車両向け画像処理システムのご提案



AMB-5000

2018年
夏
量産予定



産業車両向けの画像処理システムのご紹介

【システム構成】

- 車載向けコンピュータ
- カメラ
- カメラ入力ボード

【搭載アプリケーション】

様々な画像処理技術をアプリケーションとして搭載することが可能。

主要仕様 (予定)

コンピュータ	
外形寸法	220 (W) × 216 (D) × TBA (H) mm
OS	Windows 10 (64bit)
CPU	Intel® Core™ i3-6100TE Intel® Core™ i7-6700TE
メモリ	2 × DDR4 (最大32GB)
ストレージ	HDD / SSD
グラフィック	Intel® HD graphics 530
インターフェース	6 × LVDS Camera 2 × DP 1 × LAN (IEEE802.3at) 2 × USB 3.0 2 × RS-232/422/485 ※NTSC Camera × 8 拡張可能
電源入力	DC 9V ~ 36V
MIL-810Gに対応	

カメラ	
外形寸法	23 (W) × 26 (D) × 23 (H) mm (突起部除く)
動作電圧	4.8V ~ 5.2V
イメージセンサ	1/4" CMOS Sensor
レンズF値	2.2
解像度	1280 × 720 pixel
画角	水平 70° / 垂直 38.6°
フレームレート	30 fps
消費電力	5V 200mA
動作温度	-30°C ~ 85°C
防水・防塵	IP69K

産業車両向け画像処理システムのご提案

カメラインターフェースボード

カメラを同時に6ch接続できるインターフェースボードを開発中

LVDS 1.3Mpixel 30fpsのカメラを接続可能



※カメラインターフェースボードは株式会社ロッキーの製品です。

大型車両への搭載が可能

6chのカメラ映像を同時に
取得可能なため、
大型車両向けに様々な用途
でのカメラ搭載が可能。



HAGIWARAロゴは萩原電気ホールディングス株式会社の登録商標です。また、記載された商品名および会社名等は各社の商標または登録商標です。
SGS201805K505 2018年5月現在

Copyright (C) HAGIWARA ELECTRONICS CO., LTD. All Rights Reserved.

